

新春恒例 第八回年男男女女撮影会



年男男女女インタビュー

ご自身7回目の年女を今年迎えることになる丹羽久子さん(14番街)。東京から昨年5月にベイタウンに越してきたばかりで、今は街に馴染もうとなるべく歩くことにしているそうです。

「車に乗せてもらったり、娘と一緒にだったりすると覚えられませんね。買い物でもなんでも一人で歩くようにしています」

機会があれば何にでも参加してみたいという好奇心旺盛な丹羽さん。太極拳の教室に申し込んだところ定員オーバーで現在、順番待ちだとか。



今回の撮影会にも臆せず参加してください、子どもたちの間に挟まれて若々しい笑顔を見せてくれました。

酉年にちなんで「ベイタウン野鳥物語」

みなさんはベイタウンに珍しい野鳥が住んでいるのをご存知ですか。それも沢山。冬になると「サザンカ」や「ツバキ」の花の蜜をつつきながら木から木へ飛び渡るウグイス色の小さな鳥、そう「メジロ」です。

大きさはスズメよりも少し小さく、目のまわりが白いかわいい野鳥です。ちょこちょこと枝から枝へよく動き、一カ所にじっとしていることはありません。スズメのように地面に降りることもなく、いつも忙しそうに動いています。

メジロは形がきれいで鳴き声が美しいことから乱獲され、今では数が減ってしまい絶滅が心配されるほどになってしまいました。昔は山で子どもたちが鳥もちを使って捕まえては、友達と見せ合ったものです。ご年配の男性の方は、山で囀(おとり)のメジロを鳴かせながら息を潜めてじっと待つ緊張感をなつかしく思う方もいらっしゃるでしょう。

山里では少なくなったメジロですが、ベイタウンのような市街地では逆に増えています。これはサザンカやツバキなどメジロの好む蜜を持った花を咲かせる木が公園や植え込みに多く植えられるようになったからで、ベイタウンで数が増えるのもうなずけます。メジロは数年前まではベイタウンでは見られない鳥でしたが、その頃でも川向こうの磯辺で群れをなして植え込みを飛び回ってい



ました。

いくら増えたからと言っても今は捕獲が禁止されている鳥なので捕まえて飼うことはできませんが、そのうちベイタウンで子どもたちが鳥もちを持ってメジロを捕まえる姿を見ることができるようにも知れませぬ。

ベイタウンでは他にも沢山の野鳥が住んでいますが、年とともに住んでいる野鳥の種類も変化しています。今はメジロやヒヨドリなど都市の街路樹や公園の植木に集まる鳥が主人公ですが、数年前まではベイタウンの野鳥といえばヒバリとオオヨシキリでした。これはベイタウンにまだ樹木が少なく、野原が多かったからで草原や湿地に住む鳥が沢山集まっていた。ベイタウンの街が開発され、変化するにしたがって野鳥も変化するんですね。この次にはどんな鳥がベイタウンの主人公になるんでしょう。

幕張ベイトウン交通安全キャンペーン

先月号で、自治会連合会交通担当の福室さんから交通問題、特に路上駐車についての寄稿があったが、いよいよ12月最初の土曜日に、『幕張ベイトウン交通安全キャンペーン』と称して住民による具体的な活動が実施された。



主催したのは、ベイトウン自治会連合会、交通安全推進隊(ベイトウン郵便局の森本局長を隊長とする住民ボランティア組織)、打瀬小学校PTA、海浜打瀬小学校PTA、打瀬中学校PTA、シニアクラブ。また、協力は千葉西警察署、千葉県企業庁、都市再生機構、住宅供給公社、京成バス、平和交通、民生委員・児童委員協議会、育成委員会、ベイトウン商店会、俺たちのホームページ、ベイトウンネット、ベイトウンニュースと数多くの団体や個人が名乗り

を上げた。参加者は途中の出入りもあったので正確には数えていないが、ざっと100名はいただろう。特に、シニアクラブから参加したとおぼしき方々や、PTAから参加したお父さん・お母さんの姿が目立った。

また、千葉西警察署から参加の警察官の皆さんや、バスの運転手さんなどの姿もあった。

当日は、打瀬二丁目公園に朝10時に集合し、主に危険な場所(道交法上でも違反となる、交差点・横断歩道から5m以内など)にコーンを設置していくグループ、路上駐車車両に対して長時間駐車を控えてもらえるよう呼び掛けるビラを挟み込んだり、信号待ちの車に協力を呼び掛けるグループ、そしてベイトウン内の商店に交通安全対策への協力呼び掛けのビラやポスターを配るグループなどに分かれ、1時間強の活動を展開した。

参加者の1人であるグランパティオス東の街の高田さんにお話を伺ったところ、「6・11・15・17番街の交差点など、特に危険なところや、路上駐車が

目に余るところでは、参加者どうしがその実態を前に話し合い、いろいろ意見交換をしていたことが印象的でした。」とのことだった。

恐らく、この日のキャンペーンに参加した人は、特にこの問題に対して関心・意識の高い人が多かっただろうから、主催者側が本当に期待しているのは、このような活動や車に挟まれたビラを目にしたベイトウン住民やベイトウンに来る人々ひとりひとりの交通問題に対する意識の高まりだろう。「何時も、誰かが見ている。この街は交通問題に対する関心が高い街だ」ということが自然と



伝わり、街全体で便利さと安全をうまく折り合い付けることができるようになれば、この活動の目的は達成されることになるだろう。

主催者側では、これはほんの始まりで、これからもベイトウンを誰もが安全に生活できる街とするために、下記の3点を中心に訴え、活動していきたい、とのことだ。

【板東】

1. 交差点やバス停付近への駐車・停車はしない、させない。
2. 長時間の駐車はしない、させない。
3. タウンスピード 30Km。ベイトウン内は時速 30Km 以下で走ろう。



Season's greetings Makuhari!

知人の米国青年から、この季節の過ごし方に関する文章を寄稿してもらった。良く練られた文章なので、英語の勉強を兼ねて読んでみてはいかが？

With the holidays coming to an abrupt end, let us not forget the true meaning they provide. There is a certain spirit that people attain during the holidays. The "Holiday spirit" comes from one's inner self and is expressed by polite gestures. This is a time of giving and sharing to anyone and everyone, especially to those who are less fortunate. The "Holiday spirit" goes beyond barriers caused by race, religion, or culture.

Thanksgiving marks the beginning of the holiday season for me and many others, but tends to be my personal favorite. This is a time usually shared with family, friend, and other loved ones.

A typical American Thanksgiving consists of feasting on a slow roasted

turkey, creamy mashed potatoes, and stuffing.

This main course is complemented with many other side dishes and desserts all made by family and friends. It is a full-fledged affair, never to be taken lightly by the stomach! Christmas follows shortly after and is celebrated similarly to Thanksgiving with the addition of gift exchanges.

New Year's sneaks itself into the remainder of the holiday season right after Christmas. This holiday differs slightly from the other two and is commonly celebrated among significant others or close friends. New Year's also provides an opportunity for personal reflection. A great occasion to make new resolutions for self-improvement.

Whichever your favorite holiday may be, please remember that it is our kindness which embraces the essence of the holidays. Here's wishing you the happiest of holidays!

Trevor Murakami

CORE CALENDAR January 1月のコア

1/23
(日)

第23回 ファツィオリを弾く会

時間：9:30～11:30

会場：ベイトウン・コア 音楽ホール

第23回 ファツィオリを弾く会のお知らせです。音高や音大を目指して頑張られている受験生のみなさん! いよいよですね。

是非、この機会に、コアのホールで本番の予行演習をされてはどうですか? また、人前ではどうも...とか、ほんの少し弾いてみたいなどの非公開での演奏の希望も受け付けています。どうぞお気軽に申し込み下さい。

申し込み締め切り日 1/16 (日)

連絡先 阿曾 TEL&FAX: 211-0273

1/27
(木)

図書館主催「冬のおはなし会」

時間：15:30～16:00

会場：ベイトウン・コア 講習室

指遊び、パネルシアター、絵本の読み聞かせなど。

対象：3～5歳(保護者同伴可)

受付：当日 15:15 から公民館コアラウンジにて(事前の申し込みは必要ありません。

問い合わせ先：打瀬分館 272-4646

打瀬小学校 10 周年記念式典を開催

去る 12 月 18 日(土) 打瀬小学校で 10 周年記念式典が開催された。朝 8:15 からアリーナで始められた式典には歴代の校長をはじめ旧職員や地域関係者も参加した。式典では初代校長の溜昭代氏が開校当時の児童数が 166 名しかいなかったことや、校歌・校章を児童と地域と一緒に考えたことなどを紹介し、集まった児童(906 名)を驚かせた。その後、今回の式典のために子どもたちが作詞し、2 年生の井上ゆう香さんが作曲した 10 周年記念の歌「ともにあゆもう」が発表され、ペイタウンオーケストラと打瀬小学校を卒業したオーボエ奏者の法月智子さんの伴奏による校歌合唱など、地域と学校が協力した行事が行われた。

この日の昼食では、式典参加者にも児童と同じカレーが出され、子どもたちと同じメニューの給食を楽しんだ。子どもたちの食べる給食カレーは甘口、と決めてかかっていたが、味は本格的。こんな旨いメニューを毎日食べて



写真上：式典で演奏する法月さんとペイタウンオーケストラ

写真右：式典後の 10 周年記念フレンドフェスタでのひとこま

いるのかと、子どもたちが羨ましくさえ思われた。

10 周年記念は式典の他に、毎年行われる「フレンドフェスタ」も同時に 10 周年記念行事として行われた。



海浜打瀬小学校にけん玉名人来る

海浜打瀬小学校では一昨年、昨年と行った 1 年生向けの「昔遊び」授業を今年も行った。この授業は地域のシニアの方に昔の遊びを 1 年生児童が教えていただくもの。今年は 12 月 13、14、17 日の 3 日間で「木のコマ」「けん玉」「お手玉」の 3 種類の遊びを、同校評議員の鎌田さん(4 番街)が呼びかけた地域のシニア 10 人ほどが教えた。

なかには「コマ回しなんて 50 年ぶり」というシニアも参加し、最初はうまく回せずに困った様子だったが、そこは昔取った杵柄。し

ばらくするうちにカンを取り戻し。子どもたちから「おじさんバトルやろうよ」と声をかけられては楽しんでた。

最初はどうも出来なかった子どもたちも、参加したシニアの熱心な指導で次々とお手玉やコマ回しができるようになり、「うまくできるようになったので、冬休みには田舎に帰っておじいちゃんと一緒にやる」と言って喜んでた。

今年の昔遊び授業では 2 日目の 14 日の授業に、鎌田さんのお招きで美浜図書館長の照井始さんも参加した。照井さんは日本けんだま



協会理事で、けん玉は 7 段の腕前。アリーナで子どもたちを前にけん玉の技を次々と披露した。けん玉を知っている子どもたちも、「飛行機」や「灯台」と言った最高難度の技を実際に見るのは初めて。次々と繰り出される美技に甲高い声で歓声をあげ、食い入るように見つめていた。

2 学期制の導入でやりやすくなったこれらの授業。海浜打瀬小学校では昔遊び授業は来年も是非行いたいとのこと。

写真左：1 ～ 3 年生の前でけん玉の妙技を見せる照井さん

写真上：昔遊び授業で 1 年生にコマ回しを指導する砂原さん(8 番街)



文化振興基金が正式発足

去る 12/12(日)、コア講習室で「ペイタウンコア音楽ホール文化振興基金」設立のための最終的な話し合いが行われ、同基金が正式に発足した。本紙 89 号(2004 年 10 月号)でお伝えしたように文化基金はコア・ホールの文化活動振興のために設立されたもの。同基金は音楽・文化イベントを企画立案する企画運営委員会と理事会とで構成される

企画運営委員会と理事会の構成は以下のとおり。

理事会

伊藤正昭(自治会連合会会長)/ 君島研二郎(打瀬中学校区育成委員会会長)/ 小畑幸保(自治会連合会副会長)/ 砂原正行(ペイタウンシニアクラブ会長)/ 濱宏純(民生・児童委員協議会会長)/ 松村守康(コミュニティコア研究会代表)/ 立崎勝之/ 高橋栄寿(監事)

企画運営委員会

内田 康文/ 大垣真利子/ 唐沢明幹/ 隅山雄介/ 松村守康

ペイタウンで放火事件？

12 月 7 日午後 10 時半過ぎ、打瀬小学校アリーナ前で放火と見られる不審火があった。たまたま通りかかった 8 番街住民が発見し、消火と警察への通報したので大事には至らなかったが、現場では数冊の電話帳が燃やされていたという。

同じ場所では翌朝未明にも同様の不審火があり、このときはミニバイクに乗った二人組が住民によって目撃されている。状況から 2 件とも同一犯の犯行と考えられ、警察も捜査中であるが、まだ逮捕には至っていない。

ペイタウンでは、昨年もマンション自転車置き場で数件の不審火が発生しており、これらの事件も未解決だ。

先月号では消火器の盗難と、その消火器を使った公民館や学校のガラスが割られる事件をお知らせしたばかりだが、今月は更に悪いニュースを伝えることになった。事件、事故を目撃したら警察、学校への通報を。

連絡先：

打瀬小学校(TEL:211-0321)/ 海浜打瀬小学校(TEL:211-3330)/ 打瀬中学校(TEL:211-0344)/ メッセ交番(TEL:296-0605)

B

-

I

n

f

o

r

m

a

t

i

o

n

第3回ベイトウン新春寄席のお知らせ

9/20に行われた敬老会開催時に、参加者から開催希望の多かった「ベイトウン寄席」を下記の日程で開催します。是非たくさんの方のご来場をお待ちしています。

日時：平成17年1/16日(日) 2:30分開演 4:00 終了

場所：ベイトウン・コア ホール

演題：講演「笑点うらばなし」遠藤佳三

「落語二題」三遊亭圓橘・圓之助

入場料：シニアクラブ会員 ¥1,500、一般 ¥1,800

チケットはギャラリーキキとジャイネパールで予約できます。精算は当日受付で行います。また、剰余金はベイトウン・コア音楽ホール文化振興基金に寄附されます。

実行委員：辻和夫(8番街)。吉田ちづ(東の街)、渡辺賢司(アバンセ)、宮田充子(CPE)

後援：ベイトウンシニアクラブ

「健康講座」貯筋(ちょきん)のすすめ ～中高年の筋力トレーニング～

場所：打瀬公民館

日時：平成17年2/5日(土)14:00～15:30

定員 50人

受講料：無料

往復はがきに「健康講座」および住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、下記打瀬公民館へ1/25(消印有効)まで郵送ください。定員を超えた場合は抽選です。

新春恒例「もちつき会」のお知らせ

恒例となりましたもちつき会を下記のとおり行います。

自分でもちをついて、作って、食べる体験ができます。

先着順(800名)にグループ(25名程度)をつくり時間制で行います。

ご家族・お友達をお誘いあつてご参加下さい。お待ちしております。

日時：平成17年1/9日(日)(雨天の場合は10日)

11:00～13:30 受付 10:40 開始

人数：先着 800名

場所：ベイトウンコア 中庭周辺

参加費：無料(飲み物、焼き芋の販売も行います。)

* 小学3年生以下のお子様は保護者同伴をお願いします。

* ペットを連れてのご入場はご遠慮下さい。

主催：打瀬中学校区青少年育成委員会

共催：打瀬中学校区青少年相談員



都市機構のペット共生住宅「パティオス 22 番街」まもなく募集開始！

青い海、豊かな緑、美しい街、そしてペット。心安らぐワンランク上の「パティオス ライフ」・・・。幸せの条件をすべて満たしてくれるペット共生住宅「パティオス 22 番街」(第2次)の募集がまもなく始まります。住まう人、家族に合わせた豊富なプラン。そして今回は部屋にオフィスがあるというライフスタイルのプランもご用意しました。

UR 賃貸住宅だから、敷金以外の礼金・更新料は不要！保証人も不要！

詳しい情報は、下記の物件ホームページをご覧ください。

〔物件概要〕

- 物件名／幕張ベイトウン パティオス 22 番街 (第2次募集・ペット共生住宅)
- 所在地／千葉県千葉市美浜区打瀬3丁目9番
- 交通／JR京葉線「海浜幕張」駅下車、徒歩18分
または京成バス約5分「パティオス 21 番街」バス停下車徒歩1分
または平和交通バス約8分「パティオス 21 番街」バス停下車徒歩1分
- 募集戸数(予定)〔建設戸数〕／92戸(在宅ワーク型住宅6戸含む)〔220戸〕
- 建物構造／鉄筋コンクリート造7階建て(一部5・6階)
- 住宅型式(予定)／1DK～4LDK
- 月額家賃(予定)／95千円台～198千円台
- 募集期間(予定)／平成17年1月8日(土)～1月23日(日)
- 入居可能時期(予定)／平成17年3月下旬～4月上旬
- 物件ホームページ／<http://www.ur-net.go.jp/patios/>

お問い合わせ先

新宿区西新宿六丁目5番1号

新宿アイランドタワー

16階

独立行政法人 都市再生機構

募集販売本部 住宅募集

部住宅営業第4チーム

TEL:03-3347-4326〔定休日:

土曜、日曜、祝日〕受付時

間10:00～17:00

首都圏の都市機構賃貸住宅を

紹介するホームページ:

<http://www.ur-net.go.jp/kanto/>



街に、ルネッサンス



都市機構

ベイトウンニュースを助けてください

いつも「幕張ベイトウンニュース」をご愛読いただきありがとうございます。ベイトウンニュースはベイトウン住民がボランティアで発行する新聞です。毎月ベイトウンの全街区に無償で配布しています。発行のための費用は、周辺の企業に広告をだしていただくことで捻出しています。

ベイトウンニュースでは、毎月のニュースを配布して下さる方(ベイトウンニュース・サポーター)を募集しています。特に新しくできた番街では、まだニュースを配布して下さる方がいないので大変です。毎月でなくても結構ですので、是非みなさまのご協力をお願いします。編集部の松村(#10-612TEL:211-6853/e-mail: mmatz@m2.pbc.ne.jp)までご連絡いただくか、直接配布の会においでください。配布の会は毎月第一土曜日10:00から、ベイトウン・コア講習室で行っています。次回は2/5(土)の予定です。

ここまで来た「キッズプロジェクト 2005」

本紙9月号(第88号)でお知らせした「キッズプロジェクト'05」が形を見せ始めた。すでに原作を今回のプロジェクト向けに書き直した台本も完成し、台詞(セリフ)や演技・ダンスの練習も部分的だが開始された。今号では、総監督である隅山さんにインタビューし、プロジェクトの進み具合を紹介していただいた。記事中の「あらすじ」は完成したばかりで、もちろん初公開。

【松村】

— まず、プロジェクトの具体的な予定についてお話しください。

隅山：公演は来年(2005年)7月31日(日)に「千葉県立幕張総合高校文化ホール」で行うことがほぼ決まりました。昨年の経験からコアのホールでは観客収容が難しくなることが予想され、近くの総合高校ホールを貸していただくことになりました。ベイトウンから歩いてすぐの距離にあり、気軽においでいただけます。

公演のタイトルは『地球のこどもたちへ』。「河原木孝浩」原作の子供ミュージカル作品を、ベイトウンの子どもたちが参加し親しめるように潤色しました。出演はフェアリーズとダンススケッチのみなさんを中心

に140人ほどになります。— 今回は特別に完成したばかりの台本を見せていただけるそうですが…。

隅山：台本は完成しましたが、「見てのお楽しみ」も残しておきたいので、今回は「あらすじ」だけ。

深い森の中にある妖精たちの世界のお話。森に迷いこみ、毒いちごを食べ倒れた心優しい少女サーアは妖精の子供たちに助けられる。サーアは生き物と地球の関係を知り森と共に生きる妖精たちに共感するが、人間を忌み嫌う妖精の先生に追い出されてしまう。一方、大人に認められたがって背伸びする子供ギャング団も森に入り込み、お金儲けのために美しい森を利用し破壊する計画を立てる。偶然

計画を知ったサーアは止めるにはいるが…。

森や地球と人間の関係を見つめるファンタジーです。— 来年7月というに残すところあと半年ほどですが、現在の進み具合はどうですか

隅山：現在は、部分的に台詞や演技・ダンスの練習が始まったところです。この物語では「妖精たち」の他、「子供ギャング団」の役割が重要で、うまく演じられる男の子を公募していました。幸い海浜打瀬小学校5年生の杉谷君と佐々木君がきびしいオーディションにも合格しました。二人の演技力を見て総監督としてもストーリーの進行にも自信が持てたということです。

— 今後の課題はどんなところですか

隅山：初のミュージカルなので、これまでのスタッフに加えてあらたにミュージカル経験者を迎えてアドバイスを受けながら、舞台構成や演出を研究中ですが、合唱だけでもダンスだけでも芝居だけでもない、総合舞台芸術である『ミュージカルらしさ』をどう表現し

ていくかが大きな課題です。今後は構成やステージ内容を煮詰めながら、2月に器楽演奏参加者を公募し、4月からは海浜打瀬小をお借りして本格的な練習に入っていく予定です。

隅山さんの本職は高校の先生。この時期試験の問題作成や採点で忙しいなかをインタビューに応じていただきました。



いよいよ本格練習に入ったフェアリーズ

ミュージカルの中心となる少女合唱団「フェアリーズ」(代表:森本真由美)は12/25(土)、練習後にクリスマスミニコンサートを開いた。これは「いつもお世話になっている合唱団員の父兄や関係者に感謝を…」と企画されたもの。11:30から20分間ほどの短い時間だったが、コンサートには父兄のひとりである佐藤さん(GPE在住)もギターで参加し、フェアリーズは自分たちで考えたクリスマスツリー(写真)を披露するなど楽しい雰囲気で行われた。たまたま練習日がクリスマス当日となったこともあり、父兄や関係者のみなさんには、澄んだフェアリーズの歌声はまたとないクリスマスプレゼントとなった。



今年にはクリスマスイルミネーションをアバンセでつくるのができなかったのが残念ですが、来年は是非みんなで行いたい」

いつも笑顔を絶やさない渡邊さんは貿易会社を営んでいる。衣類や生活雑貨などを扱う会社に勤務していたが、最近独立した。中国との取引などが多く、月の2/3ほどは海外を飛び回っている。成田が近いベイトウンは仕事上でもとても便利だそう。おふたりの

共通の趣味は旅行。「今日もこれからサイパンへ家族3人で行きます」

元海君の名前を考えたのは奥様。九州出身の賢司さんも「玄界灘」にちなんだ名前と賛成した。「元海は海が生命の源という意味を込めて考えました。今世の中は複雑になり暗いニュースも多いが、元海にはシンプルで力強い生き方をしてほしい」

【松村】

第2回 家族の肖像

渡邊家

渡邊家のプロフィール:パティオスアバンセ在住
賢司(けんじ36歳)、裕子(ひろこ)、
元海(げんかい1歳3ヶ月)



「家族の肖像」第二回は今年アバンセに入居したばかりの渡邊さんご一家。長男の元海君は1歳3ヶ月。新居に3人で幸せいっぱい暮らし暮らすご一家にモデルをお願いした。

お二人は東京で知り合った。裕子さんが海の近いベイトウンを見て一目惚れ、ミラリオに姉妹3人で入居したのに合わせて賢司さんもその1年後、20番街オープンと同時に入居し結婚生活をスタートした。それまで1年間、渡邊さんはベイトウンにたびたび通って来たという。「養子状態だったので…」。

「アバンセは同年代の家族が多いので、気に入っています。息子の元海にも友達がたくさんいるし。入居してすぐに友達ができました。まだ入居して間がないので

(写真左から) 賢司さん、元海君、裕子さん/撮影場所:ベイトウン・コア中庭/撮影日時:平成16年12月19日 10:26



BAYTOWNBUS への

皆様のご意見ご要望をお聞かせください。



ベイタウンバスは、平成9年5月から運行をスタートし、8年目を迎えます。

おかげさまで、ご利用の皆様の声をもとに、マリンルート、タウンルートの2ルートへの運行へと変化してきました。今後は、人の移動を手助けするさまざまなシーンで当社は新しいサービスにチャレンジしてゆきたいと思います。以下の声は、当社へ寄せられた要望の一部を掲載しています。どれほどお客様の声があるのかお聞かせいただければと思います。 また今後実現してほしいサービス等ご意見をお寄せください。

ご要望の程度

1. ヨーカドー方面への買物ルートの運行実施

a. 高い b. 普通 c. 低い

2. 検見川浜(区役所)、稲毛海岸方面への運行ルートの実施

a. 高い b. 普通 c. 低い

3. 総武線駅への直通ルートの実現

a. 高い b. 普通 c. 低い

4. 成田空港まで(帰りも)家から直接2,000円～2,500円程度で行ける乗合型送迎サービスの実施

a. 高い b. 普通 c. 低い

5. 片道300円～400円程度でショッピングセンターから家の前まで届けてくれる乗合型送迎サービス

a. 高い b. 普通 c. 低い

6. その他。当社へのご意見ご要望をお聞かせください。

お名前	
ご住所	
連絡先電話番号	

(ご記入いただける部分だけご記入ください)

ご意見、ご要望の送付先

郵便：〒263-0054 千葉市稲毛区宮野木町577-1

平和交通 経営企画室宛

FAX：043-256-6211 E-mail：taira@alles.or.jp

